

## 新たな年 自分に祝福を 理解と寛容と平和へ

新しい年をおかえられたみなさまの生命とその尊厳に心よりの祝福「おめでとうございます」を交感いたします。通信お読みの方々との御縁に感謝します。今年もよろしくお祈りいたします。

子どもが学校へ行かない、子どもが働かず家にいる、そして性格の凸凹がある、それが問題なのではありません。それは子どもの成長葛藤、若者の生き方の模索、自分の特性に気づく過程です。そこに在る“留まる勇気”、自分の命を大切にする行動を受け入れませんか。現代の学校、仕事、人間関係が彼彼女を追い込み傷つけ悩ませています。家族もまた追い込まれスパイラル、親は社会問題の代理“戦争”を子に仕掛けてしまいます。

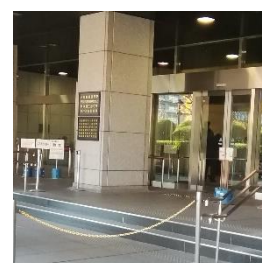


ダンスワークショップ in Largo  
インストラクター asamicro

耳をすまし穏やかな目で暮らし、楽しくやりたいことをする子どもを肯定しませんか。先を生きてきた親(大人)だからこそ、未来に期待し寛容に“子の生(生命)”を喜びませんか。共に和やかに過ごし家族の中で肯定され子は、外の世界で人に出会って好きな人・信頼する人と共に自己を進化させていくのではないのでしょうか。「子どもには子どもの力がある、生きる力がある。」これが僕の歩みの基です。ご声援ご批判ください。

## コラム風 生存権 憲法 25 条 真価問われる 親子の家族殺戮からの解放

昨年6月熊沢英昭さん(74歳父)が長男英一郎さん(44歳)を殺害、孤立化する現代家族を象徴する事件が起こりました。僕(68歳)は同世代を生きる一人として、判決の場にいたいと12月16日(月)午後3時裁判所へ出かけました。傍聴の抽選に外れ、持ち物検査を受け4階246号法廷廊下へ足を運び記者に交じって判決を待ちました。開廷5分後飛び出してきた記者が「刑期6年執行猶予なし」と叫ぶ声を僕は聞いたものの、どう受けとめようか？まさかの嘔吐感…やっ和外に出て帰途につきました。



東京地方裁判所玄関

74年前侵略戦争に敗れ民主主義を根幹に据えようと始まった国づくりは廢墟からの立ち上がりでした。74年後貧困・医療・子育て教育・障がい者・高齢者問題は個人と家族に責務を負わせる形でしか機能しなくなっています。2010年“子ども若者育成支援推進法”(子若法 子ども若者の環境悪化への支援法)が制定されました。2006年 NPO 法人アンガージュマン・よこすか理事長として“かながわボランタリー基金21”助成を受け5年間「ひきこもり就労支援ネットワークづくり」を横須賀から取り組みました。その流れで横浜市子ども若者支援協議会に参画し部会長を担いました。2012年内閣府「子ども若者育成・子育て支援功労者内閣府特命担当大臣表彰」を法人は受けました。

あれから約10年、不登校や社会的ひきこもり等を含む社会環境は全般的に悪化の一途をたどります。約14万人の不登校(高校生を含むと約18万人)増加で親も学校もお手上げ状態。高齢化する社会的ひきこもりは二度の調査で約100万人(54万+61万)です。

熊沢さんの判決、それが平成の結末です。熊沢さん家族はエリートサラリーマン父と家

事子育てに勤しむ母と姉弟一家は戦後の象徴的家族像、それが自己責任による“地獄絵図”と化しました。1ページで触れたように、社会問題の代理戦争で家庭が戦場と化し、親子が敵対し武装するという。生きた心地がしない家庭となり、子どもと親が向き合えず社会と絶縁しました。今こそ恐怖を希望に変える叡智を社会が発していく時です。(滝田衛)

## 寄稿 正論からの脱却おとなが自分で考え動く 島根三枝子さん

『がんばらないで、ゆっくり休んで』も時として、逆の押しつけになるのでしょうか。大人も子どもも、正論からの脱却の時がきたのでしょうか。自己主張はわがままと否定されてきました。学校・社会に足並みをそろえることを、押しつけられてきました。その結果自分を見失ってきたの

左：島根さん 返子ゆずり葉の会 右：橋本さん



でしょう。いまとなっては『自分がどうしたいのか』は難しいことです。自己主張で生じることこそ、自分を育てることです。考え悩みとまどい、道を見つけていきます。苦しみや困難から逃れようとするのではなく、模索することで人は成長します。滝田さんも私もいろいろな事があったから、今があるのだと思います。ただ人に話すことで頭の中が整理され、気づきがあったりで一步前進できることもあります。

子どもたちが自分に向き合っているように、私たちおとなも自分に向き合う時が来たように思います。人としてお互いに話し合った時、学び合いが生まれるのではないのでしょうか？ 国連で環境問題を話したり、広島でメッセージを伝えたり、子どもだからとは思えません。なにかそこでしなければと思うすごさです。休みたければ休めばいい、走りたければ走ればいい。自分の考えで動ける、私たちおとなもそうなりたいと思います。(元フリースペース地球屋代表、代々木高等学院カウンセラー) ※前号僕の objection への貴重な回答を頂きました。感謝

### それぞれの風

○「生きてくれましたね。此処まで あなたで」の松井麻美さんの言葉が響きました。活動と子育て期が重なっている私は、どちらも満足できないまま時間ばかりが流れていくような気持ちです。援助職と、この1年は不登校の娘の母という立場もかわり、大変学びの多い日々でした。何者かになってほしい気持ち。何者かになりたい気持ち。ただ在るだけでいいという気持ち…。いろいろな気持ちを日々感じています。そんな私に松井さんの言葉は響きました。(CHさんよりのお手紙)

○昨日はゆずり葉の会でお世話になりました。ひきこもり23歳の息子のことを、これからが楽しみですと言っていただいてスーッと気持ちが楽になりました。ありがとうございました。ピアノ教師をしていますが生徒さんが Largo に、私もココロの会で更に楽しく子どもたちと過ごしたいと思います。(母 KOさんよりメッセージ)



公演が好き♥ by 新井秀浩さ

**1月予定** ○9・16(木)16:30:たすき塾 ○13日(祝月)ROCKT5周年 in 東京大学 ○14(火)10時:いじめ連絡協議会 in 鎌倉市 ○19(日)13:30返子応援団会議ひきこもり発信プロジェクト:新井秀浩 & ゆずり葉の会:橋本由美子 in 返子市民交流センター ○25日(土)14時:不登校講演会 in 小田原市 ○26日(日)14時:横須賀応援団会議:龍崎明信 in 横須賀市民活動サポートセンター ○30日19時:支援教育推進委員会 in 横須賀市 ○研究所:9.16.23日 【発行編集:滝田衛】鎌倉市七里ガ浜東2-31-12  
携帯:09072124055 ●メール:[qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp](mailto:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp) ●研究所 HP:  
<http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/> ●応援団:<https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>